



平成25年4月12日

各位

上場会社名 明和地所株式会社
 代表者 代表取締役社長 原田 英明
 (コード番号 8869)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 宮崎 猛
 (TEL 03-5489-0111)

業績予想の修正、棚卸資産評価損の計上および繰延税金資産の取崩し ならびに期末配当予想の修正、役員報酬等の減額に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表した通期業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成25年3月期において、棚卸資産評価損の計上、繰延税金資産の取崩し、役員報酬等の減額を行うことといたしましたので併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|---------|---------|---------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 45,700 | 3,700 | 2,200 | 1,200 | 48.20 |
| 今回修正予想(B) | 36,500 | △6,550 | △7,800 | △11,460 | △460.36 |
| 増減額(B-A) | △9,200 | △10,250 | △10,000 | △12,660 | |
| 増減率(%) | △20.1 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成24年3月期) | 35,856 | 2,867 | 1,426 | 751 | 30.19 |

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|---------|---------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 40,700 | 2,000 | 1,200 | 48.20 |
| 今回修正予想(B) | 31,700 | △8,030 | △11,390 | △457.54 |
| 増減額(B-A) | △9,000 | △10,030 | △12,590 | |
| 増減率(%) | △22.1 | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成24年3月期) | 31,011 | 990 | 645 | 25.91 |

修正の理由

リーマンショックによって大きなダメージを受けた首都圏マンション市場は2010年以降緩やかな回復基調にありましたが、東日本大震災や欧州債務危機、長引く円高による企業業績の悪化などから、所得・雇用環境も先行き不透明な状況が続く消費マインドの低下を招きました。さらに昨年の夏以降は消費税増税問題からエンドユーザーの住宅購入への様子見の姿勢が強まることとなりました。

このような環境の中、当社の不動産販売事業につきましては第1四半期までは好調に推移したものの、第2四半期以降は消費税増税問題等の影響により進捗が遅れが生じました。当期の優先課題として取り組んだ前期末の在庫販売は一定の成果を上げることができましたが、反面新規物件の供給スケジュールに遅れが生じたことなどから、契約高予算400億円に対して実績306億円と未達に終わりました。

この結果、連結売上高は公表値を下回る見込みとなりました。また、営業利益、経常利益、当期純利益についても公表値を大幅に下回る見込みとなりました。その要因は売上高の減少に加え、「棚卸資産の評価に関する会計基準」にしたがい、棚卸資産評価損約85億円を売上原価に計上することによります。さらにこうした収益状況を受け繰延税金資産についても慎重に検討した結果、約35億円を取崩すこととし、当期純利益の減少額が増加する見込みであります。

なお、通期個別業績予想数値についても、前述の理由により修正いたします。

● 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 (平成24年5月11日発表) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 0.00 | 0.00 |
| 当期実績 | — | 0.00 | — | | |
| 前期実績 (平成24年3月期) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

修正の理由

当社は、財務体質の強化に不可欠な内部留保を確保しつつ、長期安定配当を通じた株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識しております。

しかしながら、前述の業績予想の修正に伴い誠に遺憾ながら期末配当を見送らせていただきます。早期に業績を回復し、長期安定的な配当を維持できるよう努力する所存でございます。

《役員報酬および執行役員給与の減額について》

当社は、前述の業績予想の修正および配当予想の修正を厳粛に受け止め、経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬および執行役員給与の減額を決定いたしました。

(1) 役員報酬および執行役員給与の減額

- ・代表取締役 役員報酬月額の50%を減額
- ・取締役執行役員 役員報酬月額の20%を減額
- ・執行役員 給与月額の10%を減額
- ・対象期間 平成25年4月から平成25年6月まで(3ヶ月間)

(2) 賞与

- ・平成24年度の役員賞与については支給しないことといたします。

《平成26年3月期の業績予想について》

平成26年3月期の業績予想は、平成25年5月10日発表予定の平成25年3月期決算短信でお知らせする予定です。

※上記予想は、資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上